



学校通信

夕陽丘

第50号



【“オール夕陽”でより良い環境づくりを】 学校教育自己診断結果より

学校生活をより充実したものとするため、「学校教育自己診断」を行っています。今年は700名の保護者の皆様から回答をいただきました。お忙しいところご協力ありがとうございました。

肯定的回答率は、80%以上を占めるものが、生徒は19項目中16項目、保護者は19項目中15項目あり、概ね評価されているところです。

具体の項目では、ここ数年継続して力を入れた「授業の充実」について、生徒5.5pt、保護者8pt向上しました。年2回の公開授業月間、全教職員による授業見学及び研究協議など、生徒の「主体的な学び」をめざした授業スタイルを研究した成果と考えます。

「進路実現」に関する項目は、すべての項目でポイントが上がり、「進路情報」を適時に伝達し、「模試の振り返り」等、事後指導を徹底したことによるといえます。

「人権教育・教育相談」についても同様で、生徒に寄り添った指導ができてきたと考えます。新規項目の「いじめへの対応」は生徒85%、保護者88%であり、今後も日々の生徒の様子を把握して、保護者の皆様と連携しながら、いじめの未然防止に努めていきたいと考えます。

本校の特色である「国際交流」は生徒が90%を越えており、海外修学旅行、姉妹校(台湾鳳新高級中学・ニューヨーククラークスタウン北高校)との相互交流、新規ベトナムへのフィールドワーク、留学生の受入れなど、これまでの活動を継続・深化できていることが評価されています。

自由記述では、「電子黒板を活用して授業がわかりやすい」「スクリーンを設置し見やすくなった」との声があった他、「特別教室にもプロジェクターを設置して欲しい」との嬉しい要望を受け、順次設置したところです。また、これまでから強く要望があったグラウンド・テニスコートなどの整備について、全クラブ員による大掃除において、出来る範囲の改善を行い、2月には、業者によるグラウンド整地を行う予定です。今後も生徒、保護者の皆様、教職員、卒業生が一体となり、「オール夕陽」でより良い環境づくりを進めていきたいと考えます。詳細は今後Webページに掲載します。

平成29年度 学校教育自己診断 肯定的回答率

	質問項目	29年度	28年度
生徒	授業は充実している。	84.6	79.1
	ホームルームなどで将来の進路や生き方について考える機会がある。	87.6	84.1
	学校は、進路についての情報をよく知らせてくれる。	86.9	83.4
	スタディサポート・模試は、進路希望の実現に役立っている。	77.4	63.6
	悩みや相談に親身になって応じてくれる先生がいる。	80.7	72.3
	先生は、厳しく真剣に自分のことを考えて指導してくれている。	83.6	79.6
	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	77.8	71.5
	国際感覚を養うような国際交流の機会がある。	90.6	86.2
保護者	子どもは、授業がわかりやすく充実していると言っている。	67.1	59.1
	スタディサポート・模試は、子どもの進路希望の実現に役立っている。	81	74.6
	進学講習は、子どもの進路希望の実現に役立っている。(※2,3年生のみ回答)	78.4	73.5
	学校は子どもに命を大切にす心や社会のルールを守る態度を養おうとしている。	91.1	88.1
	学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。	91.3	88.5

【第三学年】より

「響きあう70期」最後のハーモニー

3学年主任 植松 健一郎

譬如為山。	譬へば山を為るがごとし。
未成一篋、止吾止也。	未だ一篋を成さざるも、止むは吾が止むなり。
譬如平地。	譬へば地を平かにするがごとし。
雖覆一篋、進吾往也。	一篋を覆すと雖も、進むは吾が往くなり。

『論語』にある孔子の言葉です。人の学問について述べたものです。だいたい次のような意味でしょうか。「学問をするのは、例えば山を築くようなものだ。山を築くときにあと一杯のもっこ（篋。土を運ぶ道具。）の土で完成するのに止めてしまうのは、外ならぬ自分が止めるのであって、誰のせいでもない。地ならしをするのに、一杯のもっこの土を注いただけでも地が埋まっていくのは、自分が進んでやったからだ。」

みなさんが夕陽丘高校に登校する日も残すところわずかになりました。冬休みが明けた後、この高校最後の日々をみなさんはどう過ごすのでしょうか。

これから入試を受ける人にとっては追い込みの時期となります。それは同時に一番苦しい時期にもあたります。勉強すればするほどやるべきことが増えてきて、終わりが見えず、とても不安になります。けれどもここまでやってきたのです。それを信じて、孔子の言葉にあるように最後まで自分の意志で土を運び続けてください。山を完成させるかどうかはみなさん次第です。

一方、すでに進路が決まっている人は高校の一日一日をいつくしんで過ごしてください。そして、4月から始まる新しい生活に向けての準備をしてください。多くの人は大学や専門学校に進学すると思いますが、みなさんにとってそこは「ゴール」ではないはずですが、今の結果に安住することなく、一般入試の人よりも早くスタートの準備ができる条件を生かしてほしいと思います。これも孔子の言葉通り、たとえ一杯のもっこの土であっても、運ぶことが地をならず一歩になります。そして、そのことが一番苦しい時期に歯を食いしばっている仲間を励まし、助けることにもなります。

「響きあう70期」も最後のハーモニーを奏でる時期がやってきました。それぞれが卒業までの日々を大切に過ごし、夕陽丘での高校生活のフィナーレを飾ってくれることを心から願っています。

【第二学年】より

ブルゾンちえみさんが思い出させてくれたこと

2学年主任 森川 栄一

先日何気なくテレビを見ていると、タレントのブルゾンちえみさんが母校の大学を7年ぶりに訪問し、恩師や同窓生に会うという番組が流れていた。ブルゾンちえみさんを殆ど知らなかった私が、なぜその番組に見入ったかという、その大学が国立の島根大学であったからだ。実は夕陽丘在学時に、級友と夜行列車に乗って島根大学と鳥取大学を見学に行ったことがあった。校舎はすっかり変わっていたが、この番組を見ながらそのことを懐かしく思い出した。

その当時の自分は、地方の国立大学に入り、自然の中で、のんびりした大学生活を送ることを夢見ていた。島根や鳥取以外にも三重大学、名古屋大学、和歌山大学、滋賀大学を受験勉強の合間に、見学に出かけた。

ブルゾンさんは島根大学教育学部で小学校の教員を目指していたらしい。当時、彼女が美術の時間に創っ

た作品はいまだに保管されていた。恩師や同級生、先輩と再会し、旧交を温めるシーンを見て、中退するまでは、充実した大学生活を送っていたことが感じ取れた。国立大学には私立大学にはない少人数クラスによるアットホームな雰囲気があり、公立高校出身者でも体育系クラブに所属し、活躍することができる。その地方の優秀な学生が集まり、地元の評価も高く、向学心にあふれた仲間と出会う機会もあるだろう。

現状は、地方の国立大学より関西の私立大学を選択する受験生の方が多いのも事実である。私自身、結局大阪の大学に進学したが、あの頃持ち続けていた夢はこの年齢になっても理解できる。もう一度大学を受験するならば、自然に囲まれ、一人一人の存在感が大きい地方の国立大学へ行きたい。今でもそう思う。センター試験で5教科7または8科目という科目数の負担が国立を敬遠する大きな理由であり、私学と併願がやりにくいことも事実である。しかし、国立大学はみんなが想像しているほど入るのが難しいわけではない。今から全教科満遍なく努力すれば叶うことのできる目標である。また国立の推薦入試や、後期試験では、センター3科目（文系であれば、英・国・社）で受験できるところもたくさんある。

この冬休みは具体的に志望校を決定する時。関西の国公立大学に加えて、地方国立大学も是非その候補に入れて欲しい。

夢を叶えるためには、明確な目標を定め、戦略を練り、後は地道に頑張るだけ。継続するのは大変だが、その先にある志望校合格の喜びは計り知れない。

ブルゾンさんは高校時代、日々、陸上競技と勉強に打ち込んだそうだ。夕陽丘からも第二のブルゾンちえみが出ることを心待ちにしている。

【第一学年】より

夕陽丘の時間

1 学年主任 山村 文人

先日、ふと思立って、吉野山に登ってきました。紅葉のシーズンは少し過ぎていましたが、風のない穏やかな一日をのんびりと過ごすことができました。吉野山に登るのは二度目です。十年前の夏、当時の一年生（62期生）を連れて合宿に来たことがありました。金峯山寺に向かって歩く道の途中に立っている、大きな銅の鳥居を見て（私はその鳥居のことをすっかり忘れていたのですが）、懐かしく思うと同時にとても不思議な気持ちになりました。その不思議さを今うまく言葉にできないのですが、「この鳥居は、この十年の間、ずっとここに立っていたのだな」という感慨です。日本三鳥居の一つで（他の二つは、安芸の宮島の朱丹の大鳥居、大阪四天王寺の石の鳥居だそうです）室町時代の建立とも言われる銅の鳥居にしてみると、十年程度の時間の流れは、何ほどのものでもないかもしれませんが、生身の人間にとって十年はそれなりの時間です。あの時、合宿に引率した新入生たちは、とっくに卒業し、社会人となって、それぞれの分野で活躍しています。

72期生の皆さんは、十年後、自分はどこで何をしていると思いますか？

夕陽丘に入学して、はや九ヶ月が過ぎました。この間、様々な学校行事（宿泊研修、体育祭、文化祭、合唱コンクール、フィールドワーク等々）があり、じりじりと難易度を増す勉強があったと思います。部活動では、少しずつクラブの中での役割が増す一方、文理選択もあり、進路のことも考えねばならず、あれやこれやで毎日があっという間に過ぎていっているのではないのでしょうか。現代文の授業で扱った教材に、「結ばれていく時間」という文章がありました。断片化し、個の時間として、自己完結する都会（現代社会）の時間と対比して、二十四節気のリズムで動く村の時間が人間的なものとして描かれていました。現在、そのような牧歌的な村が現実存在するかどうか、私にはわかりませんが、読みながら私は「夕陽丘の時間」というようなことを考えていました。思うに夕陽丘には、不思議な時間が流れています。友達や学校行事、それぞれの目標へと様々に結ばれ、共有される時間です。訪ねてくる卒業生は、なぜか口々に高校時代に戻りたいと言います（無理ですが）。皆さんが夕陽丘で過ごす今の一日一日は、きっと十年後の「夢」に結ばれています。循環する村の時間と違い、夕陽丘での時間は一度きりです。だからこそ、夕陽丘での今日の一日を大切に、頑張りたいと心から思います。

【音楽科】より

第21回 定期演奏会 9月24日(日) NHK大阪ホール

21回目となった今回の定期演奏会は、客演指揮者に関西フィル首席指揮者の藤岡幸夫氏を初めて迎え、今年もたくさんのお客様からの大きな拍手に包まれました。

2年生による和楽器、3年生によるソロ・アンサンブルの演奏のあと、合唱では打楽器なども使用した演奏を行い、オーケストラは迫力ある《1812年》など、そして合唱とオーケストラで《カルミナ・ブラーナ》を演奏しました。



♪特別公開講座

9月29日(金) 「オーボエ演奏とレッスン」 ハンスイェルク・シェレンベルガー氏

シェレンベルガー氏は元ベルリン・フィル首席奏者で、現在も精力的に活動されているオーボエ奏者です。ピアノの木田志津加氏の伴奏でのうっとりするような音色の演奏の後、2人の生徒がレッスンを受け、バロック時代の曲の演奏の仕方や、息の使い方の大切さを教えていただきました。



10月13日(金) 「打楽器アンサンブル」 PercPerc (和中まき氏・池田健太氏)

本校音楽科卒業生によるマリンバデュオ・PercPerc (パクパク) による演奏会では、様々な打楽器も登場し、自作曲も含めた幅広いジャンルの音楽を演奏していただきました。MCも盛り上がり楽しいひとときとなり、最後には普通科音楽選択生と音楽科生徒との共演もありました。



その他のこれまでの講座

4月17日(月) 「弦楽四重奏」 Attacca Quartet

7月12日(水) 「食べて・動いて・美しく!!~ココロとカラダに響く大真 method~」
大真みらん氏 (宝塚歌劇団 元星組若手男役)

7月20日(木) 「ピアノリサイタル」 横山幸雄氏

♪今後の予定

1月15日(月) 藤岡幸夫氏による鑑賞会曲目解説

1月19日(金) 特別公開講座 「ピアノレッスンと演奏」

講師：ヘンリー・シーグフリッドソン氏

鑑賞会：関西フィルハーモニー管弦楽団 指揮：藤岡幸夫氏 (いずみホール)

1月27日(土) 第167回 ピッコロコンチェルティスタ (学内演奏会)

2月 3日(土) 音楽科3年生(70期生)演奏会

【進路指導部】より

平成 29 年(2017 年)

推薦入試等実合格者数中間集計(判明分のみ)

大学	合格者数	昨年度
大阪教育大学	3(3)	1(1)
大阪府立大学	2(2)	4(4)
同志社大学	4(4)	3(3)
立命館大学	2(2)	2(2)
関西学院大学	9(9)	6(6)
関西大学	10(10)	13(13)
京都産業大学	2(6)	1(1)
近畿大学	13(41)	8(12)
甲南大学	1(1)	
龍谷大学	4(11)	4(8)
京都女子大学	4(7)	2(2)
同志社女子大学	10(11)	10(21)
武庫川女子大学	6(10)	8(10)
関西外国語大学	2(10)	11(17)
畿央大学	4(15)	12(23)
摂南大学	1(4)	3(10)
神戸学院大学	1(1)	
追手門学院大学	1(1)	
佛教大学	1(1)	
京都橘大学	1(1)	2(3)
京都美術工芸大学	1(1)	
大阪音楽大学	3(3)	1(1)
大阪芸術大学	1(1)	
大阪経済大学	2(2)	
大阪樟蔭女子大学	2(6)	2(3)
大阪工業大学	(2)	(2)
大阪成蹊大学	1(2)	
大阪総合保育大学	1(3)	
関西医療大学	1(1)	
千里金蘭大学	1(1)	
阪南大学	1(2)	
神戸女学院大学	1(1)	1(1)
甲南女子大学	1(4)	5(26)
帝塚山大学	1(1)	

短大	合格者数
常磐会短期大学	1

専門学校	合格者数
大阪警察病院看護専門学校	1
大阪赤十字看護専門学校	1
高津理容美容専門学校	2
日本分析化学専門学校	1
グラムール美容専門学校	1
辻製菓専門学校	1
大阪ブライダル専門学校	1

*各学校別の合格者数は現役の実合格者数
()内は延べ合格者数(浪人を含む)

今年度の推薦入試について

国公立大学の推薦入試は、大阪教育大学3名、大阪府立大学2名合格しました。

大阪府立大学 地域保健学域 看護学類は昨年度に引き続き、合格率100%です。

近畿大学は、昨年度に比べて、実合格者数も延べ合格者数も大幅に増えました。反対に、畿央大学は、今年度は厳しい推薦入試でした。

1月になると、大学入試センター試験があり、私立大学の一般入試も始まります。

いよいよ受験シーズン本番です。

3年生のみなさん、体調に気をつけて入試で実力を発揮してください。

みなさんを応援しています！

最後までがんばれ、70期生！！



【国際交流委員会】より

留学生との新たな出会いと学校交流

〈活動報告〉

交流

- ・台湾・鳳新高級中学
- ・台湾・台南市大成國中音楽班
- ・AIU 米国高校生国際交流プログラム

6月5日（月）に38名が来校しました。
10月には71期生が修学旅行で鳳新高級中学を訪れました。
6月5日（月）に53名が来校しました。
7月28日（金）に26名が来校しました。

留学生受け入れ

秋より2名の留学生を受け入れました。2年生に1名（スイス女子）、1年生に1名（オーストラリア男子）です。

9月21日（木）に留学生歓送迎会・ニューヨーク語学研修決意表明会を行いました。

留学生たちは、自分の国について、パワーポイントを用いて日本語で発表しました。



〈今後の活動予定〉

- ・12月20日（水）～26日（火）ベトナム研修に2年生18名が参加します。
- ・毎年行っているハワイ・プナホウ高校との海を越えたコンサートに向けて音楽科2年生がスカイプを通して交流しています。
- ・3月15日（木）～27日（火）ニューヨーク語学研修に1・2年生24名が参加します。
姉妹校のクラークスタウン高校で研修・ホームステイを行います。国連国際学校で開かれる春祭りにブースを出し、ニューヨーク市立大学ハンター校との交流も行います。

来年度、姉妹校である2校から生徒たちが来校します。

〔ニューヨーク・クラークスタウン高校 20名来校 6月23日（土）～27日（水）4泊
台湾高雄・鳳新高級中学 約50名来校 7月中旬1泊

後日ホストファミリー募集のご案内を配布します。ぜひご協力よろしくお願い致します。

※生徒の声など詳しくは、配布致します国際交流新聞をご覧ください。

また、本校ホームページからも詳しい交流の様子がご覧頂けます。



生徒活動PR

ダンス部、全国大会出場決定！

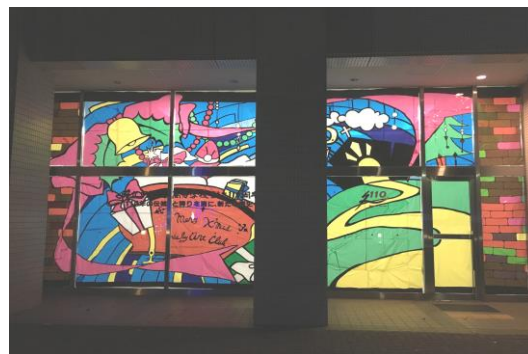


11月4日に行われました、「関西ダンスドリル秋季大会」に出場し、HIP HOP部門女子Large編成において、優勝することができました。また同時に、「第9回全国高等学校ダンスドリル冬季大会」への出場権を獲得しました。日々の練習の成果が報われたことにひとまず安心し、このチャンスを絶対に逃すことのないように、全力で練習し試合に出場して参ります。最後になりましたが、全国大会出場に際しまして、清香会様、今昔会様、PTAの方々のカンパ活動、たくさんのご協力を頂き、ありがとうございました。これからも、みなさんに元気を届けられるようなダンス部を目指して頑張りますので、応援よろしくお願い致します。



ウィンターフェスティバル 12/11~15

自治会や文化部が中心となり、作品の展示やコンサートなどの様々な企画で学校全体を盛り上げました！
玄関前にはイルミネーションが飾られ、暗くなるとライトアップされていました。振り返るとまるでステンドグラスのような綺麗な光。美術部による作品でした。多くの生徒が立ち止まり写真を撮るなど、正門前も笑顔で溢れていました♪



↑美術部による作品

←吹奏楽部のクリスマスコンサート



《今後の予定》

- 12/25(月)～28(木) 冬期講習
- 1/9(火) 授業開始
- 1/13(土) センター試験 1・2年進研模試
- 1/14(日) センター試験 2
- 1/20(土) 第3回英検
- 1/24(水) 2年合唱コンクール
- 1/27(土) ピッコロコンチェルティスタ

- 2/3(土) 3年演奏会
- 2年センター早期対策模試
- 2/14(水) 卒業生を囲む会
- 2/18(日) 音楽科実技検査
- 2/20(火) 音楽科学力検査
- 2/22(木)～2/28(火) 1・2年後期末考査
- 2/28(水) 卒業式予行
音楽科合格発表



- 3/1(木) 卒業式
- 3/6(火) 1・2年テスト返却
- 3/12(月) 一般選抜学力検査
- 3/20(火) 一般選抜合格発表
- 3/15(木)～3/27(火) ニューヨーク語学研修
- 3/22(木) 終業式



編集後記

今回、学校通信は第50号の発行となりました。

第1号は平成17年4月に発行されており、この年、夕陽丘高校は100周年を迎えました。

先月、夕陽丘高校の卒業生による総会が開かれ出席をしました。(編集者も本学卒業生です)総会では卒業生による演奏や合唱が行われ、懇親会では学生時代の思い出話に花を咲かせました。修学旅行や体育祭など行事に対する印象が強い一方で、日々の学校生活のことも沢山話しました。

「夕陽で過ごした時間は本当に充実していた。一生の宝物だ」と話す声が多く聞こえました。

さて生徒の皆さん、夕陽に入学してから今までを振り返ってみて下さい。充実した毎日を過ごしてきましたか?勉強や部活動など、力を注いでいることは様々だと思いますが、夕陽だからできたこと、夕陽に入ってどんな成長ができたかを振り返り、今学期を悔いのないよう過ごしてもらいたいと思います。

2017年も残すところあと9日となりました。今年1年お世話になった方々に今一度感謝の気持ちを持って、新たな年を元気よく迎えましょう。

本号には保健部からのお話が掲載されていませんが、毎月「ほけんだより」「相談室だより」等で皆さんに大切な情報をお伝えいただいております。しっかり読んで冬休みに体調など崩すことがないようにしましょう。



発行 〒543-0035 大阪市天王寺区北山町 10-10 大阪府立夕陽丘高等学校

TEL 06-6771-0665 FAX 06-6771-6267

ホームページ <http://www.osaka-c.ed.jp/yuhigaoka> (題字 森 敏行先生)